

平成 28 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

1. 学校概要

学校名 半田市立板山小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒475-0939
愛知県半田市四方木町 37-1

E-mail itayama@itayama-e.ed.jp

Website http://itayama-school.jp/

児童生徒数 男子 160名 女子 136名 合計 296名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（地域学習）

3 活動内容

「板山ESD」アンバサダー交流派遣事業

1 事業趣旨

- (1) 派遣された児童が、板山小のリーダーとしての自覚を高め、今後の教育活動推進の核となる人材に育つこと。
- (2) 派遣先のユネスコスクールとの継続的、互恵的なネットワークを築くこと。

2 内 容

(1) 交流団

校内で公募し、抽選の結果、6年生男子1名、女子2名、5年生男女1名ずつ、4年生男女1名ずつの計7名が派遣された。

(2) 事前学習 第1回～第6回 (7/21～8/4)

27年度の交流の成果(①つながることの大切さ、②伝えること大切さ、③行動すること大切さを学び、具体的な取組にしていくこと)と、今年度のESD活動の内容を確認した。昨年度から継続している活動、本年度の新たな取組についてまとめながら、交流相手の目黒区立五本木小学校の取組についても調べを進めた。そして、交流当日に、どのようなテーマでディスカッションできるのかを話し合い、交流準備をした。



<調べ学習のようす>

(3) 交流会 (交流校：目黒区立五本木小学校)

アイスブレイクで子どもたちはすぐに打ち解け合い、距離があつという間に縮まった。

まず、本校児童が昨年の交流以降の取組の中で、継続しているものと新規の取組について、プレゼンテーションを行った。特に、『五本木の森』に影響を受け、本校の森の整備が進められていることを報告した。

次に、五本木小のユネスコ委員会によるプレゼンテーションが行われ、1～6年生の各学年の特色ある授業のようすが紹介された。そして、5年生有志より、各学年の『五本木の森』にかかわる取組の紹介があった。昨年の交流時に、『五本木の森』を憩いの場所にする計画が当時の5年生から紹介され、本年度の5年生へ計画が引き継がれるということであったので、本校児童からは、「憩いの場所計画」に関する質問を中心に、五本木小児童からは、本校の森の整備計画に関する質問を中心に、意見交換を行うことになった。お互いの学校で、森の整備を進めれば進めるほど、児童の力だけでは難しい現実を実感し、自分たちの思いや願いを学校や地域に発信する中で、先生や地域の方々と協力していくことで、持続可能な活動となることを確認し合った。



<アイスブレイクのようす>



<ディスカッションのようす>

交流の最後は、『五本木の森』の散策に出かけ、「憩いの場所計画」の進捗状況を説明してもらった。本校の森に比べ、人や植物、森を訪れる動物のために優しい環境づくり（巣箱の設置やマップ設置、腐葉土づくりなど）がされており、五本木小の児童が毎日手塩にかけて大切にしている森であることがよく伝わってきた。



<五本木の森の散策のようす>

(4) 事後学習 第7回～第10回(8/22～26)と報告会
事後学習会にて、交流の成果と課題を掲示物にまとめ、2学期の始業式終了後に報告会を設定した。学年によっては共通のテーマでの取組に興味をもったり、憩いの場所としての『五本木の森』の整備状況に驚きの声が上がったりと、児童は遠く離れた東京の小学校であっても、身近に感じたようであった。



<報告会のようす>

まとめの掲示物は、地域の方も利用するオープンスペースのあるESDルームに展示し、公開している。学校がESD活動で目指していることや子どもたちの自主的な取組のようすなど、多くの人の目に触れることができるようにしている。また、本校の児童も、自分たちの取組を振り返ることができるようにしている。



<交流会の内容をまとめた掲示物>

3 成果とまとめ

本交流を通して、本校の特長やESDの取組を児童は自信をもって発信することができた。特に、昨年の交流をきっかけとして新しい取組に挑戦してきたことに誇りをもてたようであった。また、昨年以上に、五本木小の児童と相互の取組を共有化し、広くESDについての学びを深めることができた。五本木小では、森を守るために、多くの地域の方と協力をしていた。本校でも、シニアの方を中心に「板山っ子応援隊」が結成されたので、これまで以上に地域の方と力を合わせて活動したい。その一つとして、学校の森の整備は、交流会後、板山っ子応援隊が大規模伐採を行い、職員と児童有志で整備を行った。また、この動きをきっかけに、児童の願いや思いを地域が支援する形が出来上がり、ビオトープ再生計画の支援や、春花壇づくり支援など、板山っ子応援隊と協力しての取組が広がった。



<ビオトープ再生計画のようす>



<春花壇整備のようす>

板山ESDは、学校から地域へ広がり、世代をつなげて、地域がつながり始めている。学校発、地域ぐるみのESD活動を今後も大切にしていきたい。

4 活動時間について（下記から選択してください）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）